

友好都市本別町長 市を表敬訪問

11月10日、友好都市本別町から佐々木基裕町長、高橋哲也教育長、三品正哉総務課長が市を表敬訪問しました。

滞在中は、本市教育委員会や市議会議員との意見交換も行われました。

本別町には明治30年、本市から入植した歴史があることから、平成13年に「小松島市・本別町友好都市提携調印式」を行い、本格的な交流が開始されました。現在でも小松島市立立江小学校と本別町立勇足小学校の交流や一次製品の販促交流など、経済や文化、観光資源などを通じて交流を深めています。



中央左が中山市長、中央右が佐々木町長

損害調査結果の提供及び 利用に関する協定を締結しました

11月14日、三井住友海上火災保険株式会社と「損害調査結果の提供及び利用に関する協定」を締結しました。同社が所有する損害調査情報を本市に無償で提供するもので、市は災害発生後などに、提供を受けた損害調査情報を活用して罹災証明書の迅速な交付を目指します。「弊社の情報が地域の方々に安全安心のサービスを提供するための一助となることは、社会的使命だと思っています。」と中村哲也四国東支店長は話されました。



左から中山市長、中村四国東支店長

小松島秋の風物詩 「菊花展」表彰式

市役所本庁舎前駐車場で展示されていました「第29回菊花展」の表彰式が11月10日、市役所で行われました。【徳島県知事賞】に福本茂二さんが選ばれるなど、15部門の受賞者が表彰されました。



受賞された方々

井上 光恵さん 満百歳を祝う

11月19日、井上 光恵さんが満百歳のお誕生日を迎えられました。

井上さんは、中田町で4人兄弟の長女としてお生まれになり、家業である農業を手伝いながら、弟たちの面倒をよく見ていました。21歳で結婚し、4人の子どもを育てられました。病気がちであった子どものために、と家でできる仕事として下駄屋を50歳頃まで営まれていたそうです。

趣味は旅行で、歴史好きな夫とともによく奈良や京都に出かけられたそうです。

夫がなくなりケアハウスに入居されてからは、水墨画や川柳などを嗜まれたり、お友達と談笑したり、大好きな花を活着て廊下に飾るなどして楽しく過ごされており、現在は羽ノ浦町の介護老人保健施設で元気に生活されています。



井上 光恵さん